

2020年12月16日

【格付維持】

SMBCグループ各社

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

＜格付見直し結果＞ 格付対象は後記をご参照ください

発行者(証券コード)	発行体格付	格付の方向性	短期債務/CP
三井住友フィナンシャルグループ(8316)	A+(維持)	安定的	—
三井住友銀行	AA-(維持)	安定的	a-1+(維持)
SMBC日興証券	AA-(維持)	安定的	a-1+(維持)
三井住友カード	AA-(維持)	安定的	a-1+(維持)
SMBCコンシューマーファイナンス	A+(維持)	安定的	—

【格付理由】

コロナ禍で企業業績や個人の雇用・所得環境が悪化し、これに伴い増加している多額の資金繰り支援目的の信用供与や今後増加が見込まれる資本性資金の供与もあり、資産の質やリスク耐久力に低下圧力がかかっている。現在のところ、企業や個人への特別支援のための財政・信用・金融の政策パッケージが大きく寄与し、負の影響の顕在化を抑え込んでいる。

経済の回復ペースが緩慢で元の水準まで戻すには相当な時間を要するとの見通しが強まっているなか、(1) コロナ禍の一段の深まり、(2) 蓄積している負の影響が財政措置や信用政策の終了あるいは大幅な縮小によって急激に顕在化する、いわゆるクリフ(崖)効果——のいずれかにより、今後、資産の質やリスク耐久力が大幅に悪化する懸念がある。もともと、そうした状況を念頭においても、強固な営業基盤とストレス耐性の強さを踏まえれば、コロナ禍を乗り切って高い信用力を保てるとR&Iはみている。

SMBCグループは商業銀行業務中心に世界有数の規模を持ち、日本の3大金融グループの一角を占める。事業の多様化が比較的進展し、海外でも強みのあるプロダクトを複数持つなど競争力が向上している。中長期的な視点からアジアに経営資源を重点投入しつつ、アジアを起点にグローバルな金融機関としての発展を目指している。インドネシアの地場銀行を傘下に入れたことで戦略が大きく前進している。

収益力は格付対比でやや低い。もともと国内を中心に厳しい収益環境にあったが、コロナ禍で厳しさが増している。デジタル化などの構造改革を加速させつつあり、コスト構造の抜本的な改革が進むか見守っていく。2020年度上期は米国の金利低下局面と顧客フローの増加を機動的に捉えて市場関連業務が増益になった一方、対顧客業務は海外こそ底堅く増益を保ったものの国内は減益だった。

リスク耐久力はAAゾーンに見合っている。ただし、コロナ禍が深まり信用リスクが大幅に増加したり、金利リスクテークでは十分な収益を得られない環境下で株式や市場性クレジットなどのリスクテークを進めて市場リスクが膨らんだりすると、リスク耐久力が圧迫される可能性がある。政策保有株式の売却継続や自社株買いの見送りもあり、ストレス環境がさらに深まらなければ中期的に現状程度のリスク耐久力を保てるとR&Iはみているが、経済の回復ペース及び実体経済と大きく乖離した形で上昇している資産価格の動向、コロナ禍でのリスクアペタイトの状況を注視していく。リスクアペタイト・フレームワーク(RAF)の下、外部環境の変化に機動的に対応できるかも注目点だ。近年、様々なリスクテーク領域での機動的な業務運営の実績を積み上げており、今後もRAFが機能するか見守る。

資産の質は健全だが、コロナ禍で低下圧力がかかっている。貸倒引当金を積み増し備えているものの、その十分性はコロナ禍の動向次第だ。短期的には規模がやや大きい航空機関連の与信(持分法適用関連

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

会社で抱えるエクスポージャーを含む)やLBO(レバレッジド・バイアウト)ファイナンス、買収した地場銀行を通じ抱えているアジアでの個人向け与信など、特定ポートフォリオの動向が信用コストの増加要因になりそうだ。海外は過去10年の与信拡大の真価が問われる局面といえよう。日本の企業は大企業を中心として総じてストレス環境への耐久力を備えているとR&Iはみているが、与信額が大きいだけに、コロナ禍がより深まる場合などには注意している。グループをあげて企業の財務・事業構造の改革を通じた再生支援を強化しており、資産の質の悪化をどの程度抑制できるか注視していく。

流動性は十分に備えている。外貨も調達構造を強化してきており、さほど懸念はない。機動的な調達で調達コストを抑制し、カバードボンドの発行により低コストで安定した調達源も広げている。O&D(組成・販売)の事業モデルを拡充し資産効率を上げることで外貨調達の所要額を減らす考えだ。ALM(資産・負債の管理)運営の強化により、外貨調達力の制約が事業拡大の制約にならないか見守る。

○三井住友フィナンシャルグループ

SMBCグループの持株会社。格付はグループ全体の信用力を反映しているが、持株会社固有の構造的劣後性を考慮して、グループ中核会社の1ノッチ下にしていく。

○三井住友銀行

SMBCグループの中核商業銀行。グループの顧客基盤や収益、リスクの大部分を占め、格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。前中計でリテール店舗の次世代化を一気に進め、2020年度からの新中計では個人コンサルティング特化店舗を全体の4分の3に拡充、フルサービス店舗は全体の4分の1に縮小する。次世代勘定系システムの構築にも着手し、サービスレベルの大幅な向上と業務プロセスの抜本的改革、安定性と性能の向上などを目指している。投資額は概算で500億円に抑える計画だ。

○SMBC日興証券

SMBCグループの中核証券会社。格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。大手証券の一角を占める。リテールで強固な営業基盤を持ち、グループ一体で取り組む資産運用ビジネス、とりわけ富裕層向けの中心的な役割を担う。ホールセールもSMBCグループ入り後に再構築して市場地位を高めている。リテールの収益構成比が高く、証券会社の中では安定して収益を確保できる構造を備えている。富裕層向けや海外など戦略分野の強化は継続する一方、その他では効率化を図る方針だ。

○三井住友カード

SMBCグループのクレジットカード会社。グループの中核事業の1つであるキャッシュレスや法人決済戦略を担い、戦略的重要性が極めて高い。格付はグループ中核会社の三井住友銀行と同じにしていく。コロナ禍で個人消費が落ち込んだ影響で2020年度上期に減少した営業収益の回復動向を見守る。新たな決済ネットワークを活用して加盟店を拡充し、カード会員の獲得にも積極的に取り組んでいる。

○SMBCコンシューマーファイナンス

SMBCグループの消費者金融会社。「プロミス」及び子会社である「SMBCモビット」のブランドを持ち、グループにおける消費者向け無担保ローン事業の中心的役割を担っている。利益貢献度の高まりやグループの他の事業と比較した戦略的重要性を踏まえ、格付はグループ中核会社の三井住友銀行の1ノッチ下にしていく。コロナ禍での個人消費の落ち込みとそれに伴う借り入れ需要減退の影響で営業収益が減少しており、本格的な回復には時間がかかりそうだ。資産の質はおおむね維持されているが、個人の雇用・所得環境の悪化が長引く場合には注意を要する。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

【格付対象】

発行者：三井住友フィナンシャルグループ（証券コード：8316）

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	A+（維持）		安定的	
名称	発行総額 （億円）	発行日	償還日	格付
第1回無担保社債* ¹	1,000	2014年09月12日	2024年09月12日	A+（維持）
第3回無担保社債* ¹	420	2015年05月29日	2025年05月29日	A+（維持）
第4回無担保社債* ¹	330	2015年05月29日	2030年05月29日	A+（維持）
第7回無担保社債* ¹	810	2015年09月28日	2025年10月15日	A+（維持）
第10回無担保社債* ¹	100	2016年06月03日	2026年06月03日	A+（維持）
第11回期限前償還条項付 無担保社債* ¹	200	2016年06月03日	2026年06月03日	A+（維持）
第8回期限前償還条項付 無担保社債* ¹	550	2016年06月13日	2026年06月15日	A+（維持）
第9回無担保社債* ¹	650	2016年06月13日	2026年06月15日	A+（維持）
第12回期限前償還条項付 無担保社債* ¹	590	2016年09月12日	2026年09月15日	A+（維持）
第13回無担保社債* ¹	410	2016年09月12日	2026年09月15日	A+（維持）
第14回無担保社債* ¹	1,000	2018年03月16日	2028年03月16日	A+（維持）

*¹（実質破綻時免除特約及び劣後特約付）

発行者：三井住友銀行

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	AA-（維持）		安定的	
名称	発行予定額 （億円）	発行予定期間		予備格付
発行登録（社債）	10,000	2020年07月14日～2022年07月13日		AA-（維持）
名称	発行総額 （億円）	発行日	償還日	格付
第23回無担保社債* ²	500	2010年12月17日	2020年12月17日	A+（維持）
第24回無担保社債* ²	400	2011年06月01日	2021年06月01日	A+（維持）
第25回無担保社債* ²	300	2011年06月01日	2026年06月01日	A+（維持）
第27回無担保社債* ²	400	2011年11月02日	2021年11月10日	A+（維持）
第28回無担保社債* ²	300	2011年12月20日	2026年12月18日	A+（維持）

*²（劣後特約付）

名称	格付	
短期債務	a-1+（維持）	
名称	担保・保証 保証会社等	格付
コマーシャルペーパー	無担保	a-1+（維持）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

発行者：SMBC日興証券

名称	格付	格付の方向性	
発行体格付	AA-（維持）	安定的	
名称	発行限度額 （億円）	担保・保証 保証会社等	格付
コマーシャルペーパー	10,000	無担保	a-1+（維持）
名称	発行限度額 （億円）	担保・保証 保証会社等	格付
ユーロMTNプログラム	10,000	Keepwell契約 三井住友フィナンシャルグループ 三井住友銀行	AA-（維持）

発行者：三井住友カード

名称	格付	格付の方向性	
発行体格付	AA-（維持）	安定的	
名称	発行限度額 （億円）	担保・保証 保証会社等	格付
コマーシャルペーパー	3,000	無担保	a-1+（維持）

発行者：SMBCコンシューマーファイナンス

名称	格付	格付の方向性	
発行体格付	A+（維持）	安定的	

☆予備格付は、個別債務の最終的な条件が決定されていない段階で予備的な信用格付が必要となる場合に、付与する評価です。個別債務の最終的な契約内容等によっては、予備格付とは異なる信用格付が付されることがあります。

☆MTNプログラムに対する信用格付はプログラムを対象としており、プログラムのもとで発行する個々の債券に対する信用格付ではありません。個々の債券の信用格付は通常、同プログラムの信用格付と同一ですが、クレジットリンク債、インデックスリンク債など個々の債券の契約内容によっては、同一とならない、あるいは格付しないことがあります。R&Iは依頼に応じて、個々の債券にも信用格付を付与することがあります。

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行：久保 太郎 SMBC日興証券：松島 賢宗 三井住友カード：和田 あゆみ SMBCコンシューマーファイナンス：肝付 卓也
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2020年12月16日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018. 05. 31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2020. 03. 23] 預金取扱金融機関 [2019. 02. 21] 証券会社 [2020. 06. 19] クレジットカード・信販 [2019. 06. 19] 消費者金融 [2020. 06. 12] 金融グループの格付の考え方 [2018. 08. 09] 規制資本商品等と金融機関等の格付の考え方 [2019. 12. 11]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載 しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行、SMBC日興証券 三井住友カード、SMBCコンシューマーファイナンス
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されて いる決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた 信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を 判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約 定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債 務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何 ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来 の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその 他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項 について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これら の情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。